



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月7日

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社
コード番号 4182 URL <https://www.mgc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 政志

問合せ先責任者 (役職名) IRグループマネージャー (氏名) たき澤 諭

TEL 03- 3283- 5041

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	187,008	3.6	6,211	67.0	7,025	71.8	19,844	23.2
2023年3月期第1四半期	193,982	21.2	18,844	28.9	24,884	34.5	16,113	12.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 31,831百万円 (4.0%) 2023年3月期第1四半期 30,611百万円 (81.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	97.00	
2023年3月期第1四半期	77.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,109,722	703,457	56.7
2023年3月期	1,029,317	671,249	59.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 629,750百万円 2023年3月期 607,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		40.00		40.00	80.00
2024年3月期(予想)		40.00		40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	380,000	3.8	14,000	58.2	16,000	68.0	25,000	27.0	122.19
通期	840,000	7.5	46,000	6.2	49,000	29.8	47,000	4.2	229.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	222,239,199 株	2023年3月期	222,239,199 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	17,661,473 株	2023年3月期	17,660,740 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	204,578,056 株	2023年3月期1Q	207,311,458 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料は、TDnetで同日開示しています。また、2023年8月7日(月)に証券アナリスト・機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)における世界経済は、新型コロナウイルスのパンデミックからの回復などにより社会経済活動が正常化に向かった一方、世界的な物価上昇を背景に、米欧を中心とした金融引き締め政策が継続し、景気下振れリスクが高まるなど、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社グループは、2021年度よりスタートした中期経営計画「Grow UP 2023」の最終年度として、今年度も「環境変化に強い収益構造への転換」を図るべく、「競争優位(“差異化”)事業の更なる強化」「新規事業の創出と育成の加速」「不採算事業の見直し・再構築」等の施策による事業ポートフォリオ改革を推進しております。

当社グループの売上高は、三菱エンジニアリングプラスチックス(株)が新たに連結対象となったことや、円安が増収要因となりましたが、メタノールやアンモニアの市況下落や、電子材料、芳香族化学品の販売数量減少等の影響が上回り減収となりました。

営業利益は、円安や原燃料安が増収要因となったものの、電子材料や芳香族化学品を中心とした全般的な販売数量減少や、ポリアセタールの市況下落等により減益となりました。

経常利益は、メタノール市況の下落等により海外メタノール生産会社における持分法利益が減少したことや、営業利益が減少したことなどから減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、三菱エンジニアリングプラスチックス(株)の連結化に伴う段階取得差益の計上等により増益となりました。

以上の結果、売上高1,870億円(前年同期比69億円減(3.6%減))、営業利益62億円(前年同期比126億円減(67.0%減))、持分法損失6億円(前年同期比29億円悪化)、経常利益70億円(前年同期比178億円減(71.8%減))、親会社株主に帰属する四半期純利益198億円(前年同期比37億円増(23.2%増))となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔基礎化学品〕

メタノールは、市況が前年同期に比べ下落したことなどから減収減益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、MMA系製品の販売数量が減少したことや、アンモニア等市況の下落により減収減益となりました。

ハイパフォーマンスプロダクツは、米欧の景気減速に伴う需要低迷により、メタキシレンジアミンや芳香族アルデヒドの販売数量が減少したことなどから減収減益となりました。

キシレン分離/誘導品は、高純度イソフタル酸(PIA)の販売数量減少やユーティリティ費用の上昇などから減収減益となりました。

発泡プラスチック事業は、製品価格改定等による売上の増加や、コスト削減などから増収増益となりました。

以上の結果、売上高998億円(前年同期比152億円減(13.2%減))、営業利益32億円(前年同期比44億円減(57.5%減))、経常利益20億円(前年同期比63億円減(75.7%減))となりました。

〔機能化学品〕

無機化学品は、原燃料価格上昇等の販売価格への転嫁が増益要因となりましたが、半導体需要の低迷により、半導体向け薬液の販売数量が減少したことなどから減収減益となりました。

エンジニアリングプラスチックスは、三菱エンジニアリングプラスチックス(株)の連結化により増収となりましたが、ポリアセタールの市況が下落したことや、ポリカーボネート及びポリカーボネートシート・フィルムの販売数量が減少したことなどから減益となりました。

光学材料は、光学樹脂ポリマーの主用途であるスマートフォンの需要が低調に推移したことなどから、減収減益となりました。

電子材料は、主力の半導体パッケージ用BT材料の販売水準は汎用品を中心に前年第4四半期から回復傾向にあるものの、依然として半導体需要が低水準で推移したことから、前年同期比で減収減益となりました。

「エージェス®」等の脱酸素剤は、国内食品用途における巣ごもり需要の反動や、輸出版売の減少に加え、原材料価格の上昇等もあり、減収減益となりました。

以上の結果、売上高871億円(前年同期比82億円増(10.5%増))、営業利益35億円(前年同期比85億円減(70.7%減))、経常利益47億円(前年同期比98億円減(67.7%減))となりました。

〔その他の事業〕

その他の事業の売上高は0億円、営業損失は0億円、経常利益は0億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて804億円増加の11,097億円となりました。

流動資産は、470億円増加の5,303億円となりました。増加の要因は、商品及び製品の増加などです。

固定資産は、333億円増加の5,793億円となりました。増加の要因は、のれんの増加などです。

負債は、481億円増加の4,062億円となりました。流動負債は、短期借入金の増加などにより385億円増加しました。固定負債は、長期借入金の増加などにより96億円増加しました。

純資産は、322億円増加の7,034億円となりました。増加の要因は、利益剰余金の増加などです。

この結果、自己資本比率は56.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2023年5月12日に公表しました2024年3月期の連結業績予想を修正しておりますので、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	108,378	97,264
受取手形、売掛金及び契約資産	176,626	186,456
有価証券	93	56
商品及び製品	89,367	126,331
仕掛品	22,331	20,201
原材料及び貯蔵品	66,444	72,390
その他	20,775	28,338
貸倒引当金	△767	△711
流動資産合計	483,249	530,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	102,143	106,527
機械装置及び運搬具（純額）	87,890	95,431
その他（純額）	123,733	133,629
有形固定資産合計	313,767	335,588
無形固定資産		
のれん	4,425	20,246
その他	7,555	8,393
無形固定資産合計	11,980	28,639
投資その他の資産		
投資有価証券	200,101	193,692
その他	22,141	23,446
貸倒引当金	△1,922	△1,973
投資その他の資産合計	220,320	215,165
固定資産合計	546,068	579,394
資産合計	1,029,317	1,109,722

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,342	102,965
短期借入金	47,913	69,655
未払法人税等	5,274	3,976
引当金	6,714	4,449
その他	72,197	77,960
流動負債合計	220,442	259,007
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	74,680	79,297
引当金	3,383	2,921
退職給付に係る負債	4,453	5,943
資産除去債務	5,272	5,368
その他	29,835	33,727
固定負債合計	137,625	147,257
負債合計	358,068	406,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	34,293	35,496
利益剰余金	521,426	533,088
自己株式	△23,838	△23,839
株主資本合計	573,852	586,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,950	10,298
繰延ヘッジ損益	110	58
為替換算調整勘定	22,894	30,996
退職給付に係る調整累計額	1,805	1,681
その他の包括利益累計額合計	33,760	43,034
非支配株主持分	63,636	73,707
純資産合計	671,249	703,457
負債純資産合計	1,029,317	1,109,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	193,982	187,008
売上原価	145,501	149,446
売上総利益	48,480	37,561
販売費及び一般管理費	29,636	31,350
営業利益	18,844	6,211
営業外収益		
受取利息	118	288
受取配当金	1,605	1,037
為替差益	2,720	1,248
持分法による投資利益	2,276	—
その他	678	609
営業外収益合計	7,399	3,184
営業外費用		
支払利息	320	589
出向者労務費差額負担	531	429
持分法による投資損失	—	667
その他	507	682
営業外費用合計	1,359	2,369
経常利益	24,884	7,025
特別利益		
段階取得に係る差益	—	15,085
投資有価証券売却益	275	2,189
事業構造改善引当金戻入額	—	148
特別利益合計	275	17,422
特別損失		
土地整備費用引当金繰入額	255	—
固定資産処分損	146	—
特別損失合計	402	—
税金等調整前四半期純利益	24,756	24,448
法人税等	7,106	3,227
四半期純利益	17,650	21,220
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,536	1,375
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,113	19,844

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	17,650	21,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,220	1,453
繰延ヘッジ損益	20	△170
為替換算調整勘定	7,803	6,577
退職給付に係る調整額	△134	△108
持分法適用会社に対する持分相当額	6,492	2,861
その他の包括利益合計	12,961	10,611
四半期包括利益	30,611	31,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,187	29,105
非支配株主に係る四半期包括利益	3,423	2,726

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結会計期間において三菱エンジニアリングプラスチックス(株)の株式を追加取得しています。この結果、三菱瓦斯化学工程塑料(上海)有限公司に対する当社持分が変動し、資本剰余金が1,202百万円増加しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品 事業部門	機能化学品 事業部門	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	115,108	78,839	34	△0	193,982
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,026	42	1	△2,070	—
計	117,134	78,881	36	△2,070	193,982
セグメント利益又は損失 (△) (経常利益又は経常損失 (△))	8,403	14,561	△27	1,947	24,884

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額1,947百万円は、セグメント間取引消去△373百万円及び各報告セグメントに配分していない全社損益等2,320百万円であります。

全社損益等は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品 事業部門	機能化学品 事業部門	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	99,874	87,102	31	—	187,008
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,052	153	1	△2,207	—
計	101,926	87,255	33	△2,207	187,008
セグメント利益又は損失 (△) (経常利益又は経常損失 (△))	2,038	4,700	88	198	7,025

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額198百万円は、セグメント間取引消去△123百万円及び各報告セグメントに配分していない全社損益等321百万円であります。

全社損益等は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「機能化学品事業部門」において、三菱エンジニアリングプラスチックス(株)の株式を追加取得し連結子会社化したことにより、16,260百万円のものれんが発生しております。

(重要な負のものれん発生益)

該当事項はありません。